

築地市場の豊洲移転に道理なし

臨時都議会で
ハッキリ

小池知事の方針では 食の安全・安心も 築地も、守れない



築地市場の豊洲新市場（東京カス豊洲工場跡地）への移転に関する補正予算が臨時都議会で可決されました。日本共産党都議団の追及で、小池知事の方針が「食の安全・安心」を保障せず、豊洲移転に何の道理もないことが浮き彫りになりました。知事が以前述べていた「築地を守る」ための具体的な方策は、何一つしめされず、築地ブランドを守る保障がないこともハッキリしました。

問題だらけ！知事の追加対策

小池知事は、「土壌も地下水も環境基準以下にする」といういわゆる「無害化」方針を投げ捨てました。これは都民、市場業者との約束を破る大問題です。知事は、その上で「現実的方針」として追加対策なるものを示しました。その内容は①「盛り土」がなかった地下空間にコンクリート打設と換気、②地下水管理システムの機能強化です。

しかし質疑を通じ、追加対策では、有害物質を含む揮発性ガスの地下空間内への侵入を完全に遮断できないこと、地下水管理システムはまともに機能しておらず原因も不明で今後機能する展望もないこと、が明らかになりました。さらにカビの大量発生という生鮮食品を扱う市場としてあってはならない問題で、原因究明も調査もしない、都の重大な姿勢が明らかになりました。



築地にVIP施設 —都が密かに検討

これで市場守れるか？
共産党都議団が、資料
(上図)を入手し追及。

都が築地を移転させた跡地に、VIP向け高級ホテルやオフィスビルなどが建ち並ぶ構想を検討していることが判明。「富裕層の外国人観光客向け再開発なのか」「市場の機能が守れるのか」と追及しました。

食の安全・安心こわす移転は中止し 築地の再整備を

豊洲新市場は深刻な汚染が残ったままであり、生鮮市場にまったく適していません。築地市場の現在地再整備こそ「最も現実的」な道。実現に全力をあげます。一緒に声をあげましょう。

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2017年9月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社 (港区芝 1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可